

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2016年1月1日 148号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

2016年迎春
平成二十八年

豊かな生命を育んで流れるパラグアイ川



二〇一六年元旦

一般社団法人

南北米福地開発協会

理事長 中田欣宏

新年あけましておめでとうございます。
昨年度はご支援心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。
福地建設をめざし、出発して十七年、この間想像を超えた厳しい自然環境のなかで、試行錯誤しつつも積み重ねてきた不屈の歩み、与えて忘れる、ために生きる精神と、万民を抱く人類一大家族、真の愛の心情で地域社会の絶大な信頼と国家の関心を獲得してまいりました。
誰一人訪ねることのない見捨てられたものとも貧しい地レダに、家族を残し単身滞在し言葉にできないご苦労の数々を、何事もなかったかのごとく受け入れ歩んでこられた皆様と、支え続けてこられたご家族、支援者の皆様の熱き思いに心より感謝申し上げます。
その尊い礎の上にいよいよ希望の実体、福地建設のつち音高く響かせる時が来しました。出発してより二十年となる、二〇二〇年までの四年間、今まで流したすべての血と汗と涙を黄金の輝きに変える希望の時にしていきましょう。
老壮青みんなが知恵を出し合い考え行動し、新しい未来、福地建設の主人となっていきましょう。



2015年レダ基地では



3年連続でパクーの人工孵化に成功。(1月)



洪水への恒久対策として堤防を建設。(5月)



北米から視察や奉仕活動に
次々と多才な人材が来園。



5月8日、第三回パクー稚魚放流式を举行。5万匹を放流しました。



土地の境界にワイヤーを張った柵を設置する、重要な作業。



第15回国際協力青年奉仕隊は、バイア・ネグラの高校と病院で奉仕し、篤く感謝されました。(8月～9月)



2015年もパンタナールで若者たちが活躍しました。



11か国、36名から成る、国際色豊かなUPFの奉仕隊。メディアにも取り上げられ、多くの人々に感動を与えました。(7月)

パンタナール精神を伝えた一日研修会

十一月二十一日、代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第九回の一泊研修会を開催し、61名が参加しました。

映像による活動の紹介に続き、飯野貞夫理事による「提唱者の思想と私たち・レダ開拓史」、地球の緑を守る会の高津啓洋代表理事による「生命を守る森づくり」、昨年レダ基地で約五か月間にわたって



研修会参加者、講師陣、スタッフ一同。

奉仕活動をした滝川哲盤さんによる体験報告、柴沼邦彦理事による「パラグアイ・レダにおける理想郷建設」そして最後に三人の講師を囲んでグループごとの懇親会が持たれ、質疑応答と意見交換が熱心になされました。

今回は、本年四月二日（土）、今回と同じ会場で開催する予定です。

参加者の感想文より

● 良いものも悪いものもすべてを飲み込む、それがパンタナール精神。文先生の教えをその如くに実践してきたその実体が、まさしくそこにあると実感しました。（女）

● パンタナールに行つて様々なことを体と心で感じ、自分に何ができるかを知りたいです。「潜在自然植生」は誰でも簡単にできるし、コストがかからないのがすごいです。（20歳、男）

● パンタナールの話も、環境問題の話も、めったに聞くことのできない内容ばかりで、充実した時間でした。来年の夏にぜひレダに行きたいです。（女）

環境問題は広角レンズを持って！



十一月二十八日、川崎市の高津スポーツセンターにて、第十四回環境問題研究会セミナーを開催し、18名が参加しました。講師は東京農業大学名誉教授・

レダを体験した青年は、今！（第3回）

世界で英語を教える先生になりたい！



楠根智美さん 第14回国際協力青年奉仕隊員 奈良女子大学 文学部 言語文化学科、2年終わって休学中。フィリピン、バギオのPines International Academyで2015年9月から半年間、英語の語学留学中。

Q. 青年奉仕隊に参加した理由は何ですか？

A. 教師になろうと、発想上国語の教育に興味がありました。青年奉仕隊のプログラムに学校での奉仕活動があることを知り、参加したいと思いました。自分の将来がもっとグローバルになるかもしれないという期待を抱きました。

Q. インディヘナ（先住民）のディアナ村の学校を見て、

何を感じましたか？

A. 小学生から中学生までいっぱいの子供たちがいるのに、教室がわずかしかないうちに驚きました。しかし、そこで勉強している子供たちの目は輝いていて、「勉強することは楽しいことなんだ！」という本来あるべき姿を発見しました。勉強に対する意識が変わりました。

Q. 意外だったことはありますか？

A. 英語が通じなかったことです。世界的な言語だと思っていたのに、子供たちはもちろん先生たちですら英語が通じなかったことにびっくりしました。

Q. 青年奉仕隊の経験が、将来の夢に与えた影響はありますか？

A. 日本だけではなく、世界で英語を教える先生になりたいと思いました。パラグアイで出会ったような世界の子供たちにも英語を教え、世界に羽ばたく道を開いてあげたいです。将来はレダに学校を立て、その先生になりたいという1つの大きな夢ができました。まずは日本の学生たちを世界人として育てられる英語教師になれるよう頑張ります！



進士五十八先生

講話は平明闊達な言葉と美しい図表を駆使、ユーモアも交えて、あっという間に予定した二時間が経過。再度の開催を望む声が出るほどでした。

元学長・農学博士の進士五十八（しんじいそや）先生。テーマは「自然と人間の共生・循環社会の形成の推進」ーほんとうの環境・緑のまちづくり。進士先生は、「グリーン・ミニマム」（最低限欲しい緑）の住民の意識度調査研究から、自然面積率が約50%になる時、緑に対する充足意識度が転換（＋・－）することを発見されました。この研究に基づき、過密都市社会の病理は、多様な「農」（精農・楽農・援農・遊農・学農など）とつながる「緑地生活」を通して解決可能であるとして、「緑のまちづくり」「環境共生都市」を提唱されました。



各人が個性と創造性を発揮中！

音読し、それぞれの感想を共有しました。最後に、各自がやってみたいレダ開発に繋がるプロジェクトを企画し、議論していきました。集まった青年たちは、それぞれの専門分野と感性を持って多様な議論を繰り広げ、白熱した空気は冷めることがありませんでした。

白熱した議論！ASD青年集会開催

十一月二十二日（日）、午後六時から、大山街道ふるさと館でASD青年集会が開催されました。国際協力青年奉仕隊の参加者を中心に八名の青年が集まり、レダ開発プロジェクトに対する熱い思いを語り合いました。初めにお弁当を食べながら自己紹介の時間を持ち、打ち解けた上で提唱者のメッセージを

第二期定時総会を開催、二議案を承認

十二月十三日、午前十時より、大山街道ふるさと館イベントホールにおいて、一般社団法人南北米福地開発協会の第二期定時総会が開催されました。この総会は、出席した会員数と委任状数を合わせた数が会員総数の過半数を超え、総会として成立したことが確認されました。次いで総会議長の中田代表理事のもと、議事録署名人として、森川理事と岩澤理事が選出されました。



第二期定時総会の参加者たち

第一号議案は、平成二十六年活動報告および決算書報告で、出席者の多数をもって承認されました。第二号議案は役員の選出で、設立時理事の再任が承認されました。最後に高橋昭三監事が、報告の内容は事実と則し、かつ適切であると述べ、総会が終了しました。

中井重幸氏が現地活動を報告

総会終了後の十一時より定例集会において、南北米福地開発財団(E.D.S.A.N.S.)のアスンシオン事務局長である中井重幸氏が、パラグアイにおける活動全般について報告しました。日本に一時帰国して間もない中井氏は、自身の一年を振り返りつつ、レダの土地全八万ヘクタール活用の意義を強調されました。「パラグアイ



報告する中井重幸氏

には、私たちに先駆けてメノール教団の人々が、極端に水の乏しい内陸部に入植し、信仰・正直・勤勉をモットーに理想郷の建設を目指しました。その後チャコ戦争をはじめ数多の大きな



レダ基地上空より



世界遺産イグアスの滝

と低コストで、より多くの方々がこの価値あるエコツアーに参加できるように、創造本然の世界を体験していただけるようにしたい」と強調しました。

岩澤春比古氏が第四回エコツアーを報告

去る十一月十三日から二十四日にかけて実施された、第四回パンタナールエコツアーの報告を、ツアーリーダーの岩澤氏が報告しました。「長い間ずっとパンタナールの岩澤氏が行きたいと思いましたが、なかなか行くことができなかったのですが、今回思い切って行ってきました。やはり百聞は一見に如かず、レダの人々、動物、植物、自然現象等と直接出会って、その生の体験を通して多くを学ぶことができました。中でも現地スタッフの心のこもった準備、川を泳ぐ豚、スリルあるピラニア釣り、勇壮豪快なイグアスの滝などに、心霊が躍動しました。参加したある婦人は、優れた写真家で、愛用のカメラのレンズの先に、感嘆に値する多くの真実が見えた、と言っていました。」岩澤氏は「次回以降、もっと

試練を克服して、産業を育成し、ロマ・プラタ、フィラデルフィアなど、自由、平和で、秩序あるコミュニティを実現し、繁栄していきます。」「私たちはさらにその先にある、国家と大陸と全地球レベルの福地実現を目指しています。その小さなモデルがレダ基地です。去る七月にUPFの青年ボランティア一行が、パンタナール地域で活動して多くの人々を感動させました。同じように、日本や世界各地から志を抱いた人々がレダにやって来れば、理想郷を大きく育てて行けるでしょう。これからも皆で力を合わせて奮闘して参りましょう」と力強く語りました。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: http://asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シヤ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申し付けください。ホームページからも入手できます。

2016年カレンダー



2016年も、あなたのお部屋やオフィスを生命力豊かなパンタナールの生きものたちで飾ってはいかがでしょうか。今年はカラフルな花をたくさんあしらいました。贈り物としても喜ばれるでしょう。

お申し込みは、事務局へ。

一部200円